



大阪大学
OSAKA UNIVERSITY

令和2年度

大学院副専攻プログラム 大学院等高度副プログラム

Graduate Minor Program/
Graduate Program for Advanced Interdisciplinary Studies

専門知識に
新しい翼を。



For the English version,
please scan the following
QR cord.

専門を生かす、 専門外の学びを。

現代の大学には、従来のアカデミアにおける研究の推進に限らず、イノベーションを生み出す人材の輩出や、SDGs(持続可能な開発目標)などの全人類的社会課題の解決に資する人材の育成が強く求められています。そのため、大阪大学では他大学に先駆けてコミュニケーション教育や汎用力教育を中心とした高度教養教育の開発・実践に取り組んできました。

さらに現在、本学では、これまでの学術編成を尊重し専門分野を深め専門家を育成する教育「知の探究」に加え、新たな知識や技術の組み合わせを試みる創造的な「知と知の融合」や、社会の中にある課題を発見し、解決方法を創造し、さらに社会に実装する「社会と知の統合」を行う人材の育成を目指し、全学的な大学院教育のプラットフォームとして“Double-Wing Academic Architecture”を令和3年度から全研究科にわたって展開することを目指し、大学を挙げて検討を進めています。



Double-Wing Academic Architecture 概念図



本冊子において紹介する大学院副専攻プログラム、大学院等高度副プログラムは「知と知の融合」「社会と知の統合」の実現を目指すプログラムとして位置づけるものですので、学生の皆さんの積極的な受講を期待します。

田中 敏宏 統括理事 (教育研究、総務担当) (印) 中 敏 宏

これからの社会が求める人材の育成



俯瞰的
視野



複眼的
視点



体系的
思考



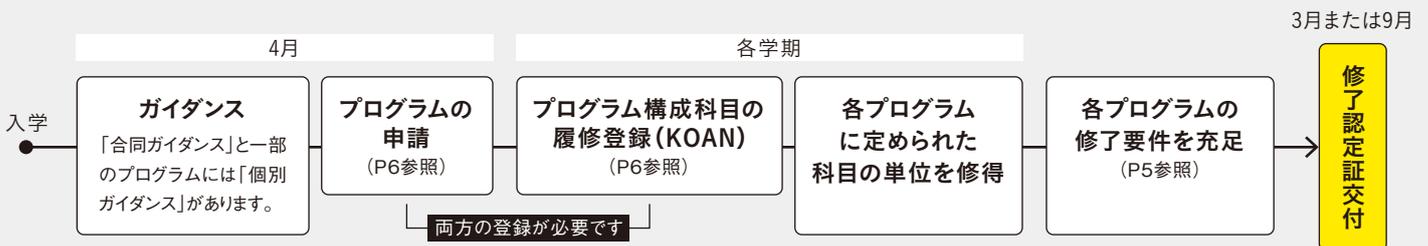
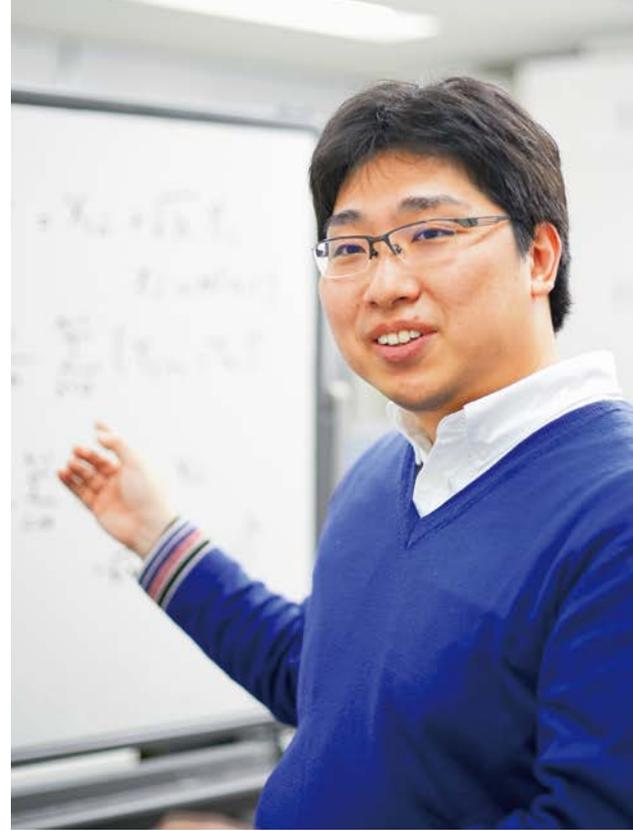
主体的
行動

Overview

「大学院副専攻プログラム」「大学院等高度副プログラム」は、複眼的・俯瞰的な視点を効果的に身につけるために、ある学問テーマに沿った授業科目を体系的に構成した教育プログラムです。学生は、主体的に関心のあるプログラムを受講する中で、異なる専門の教員や学生とともに、実社会や学問の最先端の課題に触れていくことができます。プログラムが定める要件を満たすことで、修了認定証が交付されます。



詳細はこちらを
ご覧ください
<http://osku.jp/b0267>



もう一つの専門としてしっかり深く学びたい。

大学院副専攻プログラム

修了要件 **14** 単位以上、**17** プログラム

多種多様なプログラムから、自分の専門を生かすためのものを選び、体系的に学修したい。

大学院等高度副プログラム

修了要件 **7** 単位以上、**46** プログラム



履修者の声を 聞いてみました。

実際にプログラムを履修した先輩に、履修の理由や良かった点、大変だったことなどをホンネで語ってもらいました。

Q.3 プログラムで得た知識や 経験は今後どのように 活かせると思いますか？

- 汎用性のある内容が多く、**就職後の業務に直結する学び**だった。
- 課題にぶつかったとき、専門分野だけでなく、**様々な視点から試行錯誤**することができると思う。
- 自分の研究内容をさらに充実させるための**実験手技や考え方に導入したい。**

Q.4 プログラムの履修で 苦労したことは何ですか？

- 受講に時間が取られ、**自分の研究との両立に苦労した。**
- 聴講しているだけという座学の授業はなく、毎回出される**事前課題にも時間が取られた。**
- 研究が好きで、**自分の専門に何か役立つと考えた**ので大変なことはなかった。



Q.1 プログラムを履修しようと思った理由は?

- **専門を応用できる学び**だと先生に勧められたから。
- 仕事に就いてからを考えたとき、**より幅広い視野で自分の専門を見つめることが重要**だと思い決めました。

Q.2 プログラムを通してどんな経験ができましたか?

- 様々な分野の教授や学生、そして社会で活躍する方と**面識および交流ができた。**
- 幅広い分野の**最新動向を知ることができた。**
- 自分の専門とその他の分野との関わりを知り、**多面的に物事を見る必要があると気付いた。**

Q.5 苦勞を乗り越えるためにどんなことをしましたか?

- **事前に綿密なスケジュールを立てた。**
- **意欲的な受講生たちに囲まれていた**ので、自分も常にモチベーション高く臨めた。
- **「なぜ本プログラムを受講したのか」**という原点に立ち返ることで、自らを奮い立たせた。

Q.6 これから履修を検討する人に対して、メッセージをお願いします。

- 分野の垣根を越えて、**新たな知識や経験、新たな出会い**のきっかけとなるので、ぜひ履修を検討してみてください。
- 自分の専門スキルを社会につなげたいと考えている人にとって、**履修する価値は大いにある**と思います。
- 研究スキルを高めるだけでなく、コミュニケーション力やスケジュール管理など**様々な能力が身につけられる**ので、多くのことを学ぼう!



履修要項

■履修対象者

大阪大学大学院学生(科目等履修生・特別聴講学生を除く)

ただし、高度副プログラムの一部は、本学6年制課程の学部(医学部・歯学部・薬学部)の5、6年次学生も含まれます。

■プログラムの修了要件

プログラムを修了するには、以下の条件を満たす必要があります。

- ①プログラムの受講学生として、当該プログラムが定める方法により登録手続きを完了していること。
- ②プログラムが定める授業科目から、**副専攻プログラムの場合は14単位以上、高度副プログラムの場合は、7単位以上**を修得していること。
- ③プログラムが定めた修了要件を満たしていること。

※プログラムを修了した方に対して、修了認定証を交付します。

交付は原則、所属する研究科の教務担当係より、3月もしくは9月に行われます。

■プログラム申請前の修得単位の取扱い

プログラムの申請以前に、プログラムで定める授業科目の単位を既に修得している場合は、プログラムの修了要件単位として認定されることがあります。詳細については各プログラム実施部局にお問い合わせください。

■プログラム受講開始時の手続き

プログラムを受講するには<プログラムの申請>および<プログラム授業科目の履修登録>の両方が必要です。

・プログラムの申請、履修登録

KOANで行う場合 ……次ページを参照してください。

KOAN【以外】で行う場合 ……各プログラムが発行する冊子やホームページを参照してください。

令和2年度春学期 KOANによるプログラム申請登録期間

令和2年**4月8日(水)15時**～**4月16日(木)13時**

各プログラムの授業科目履修登録期間

所属研究科が開講している授業科目 ……所属研究科が定めた履修登録期間

所属研究科【以外】が開講している授業科目 ……令和2年**4月8日(水)15時**～**4月16日(木)13時**

※上記期間は、令和2年度 春、夏、春～夏学期、通年科目を履修する場合です。

※以降、毎学期ごとに定められる期間内に履修登録を行ってください。

■KOANの操作方法について

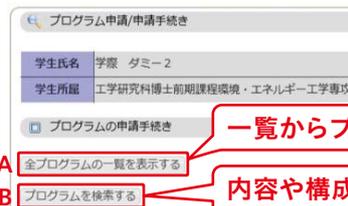
KOANの「プログラム申請」システムで申請受付を行うプログラムの場合、操作方法は以下のとおりです。なお、「プログラム申請」システム以外の方法で申請受付を行うプログラムもありますので、「プログラム申請」のプログラム詳細画面や各プログラムが発行する案内冊子、ホームページ等で確認してください。

1.<ログイン>

KOANにログインし、 から「プログラム申請」に入る。

2.<興味のあるプログラムを選択>

AまたはBをクリックして、検索を行い、興味のあるプログラムを選択する。



一覧からプログラムを選択します。

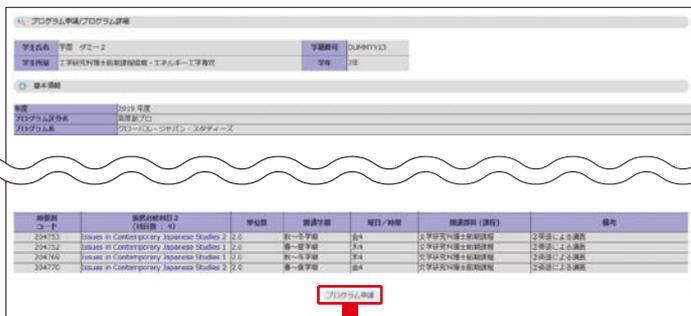
A 全プログラムの一覧を表示する

B プログラムを検索する

内容や構成科目からプログラムを検索します。

3.<プログラムの内容を確認し、受講申請>

プログラムの詳細画面の最下部にある「プログラム申請」ボタンをクリックして、受講申請は完了。



プログラム申請期間中はいつでも申請の取消が可能です。

4.<プログラム科目の履修登録>

あなたの時間割とプログラムの時間割を見比べながら履修登録することが可能です。



あなたの時間割

プログラムの時間割

構成科目一覧

クリックして履修登録すると「あなたの時間割」に反映されます。